



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする子どもの育成」

鍬踊りに3年生が挑戦！



総合的な学習で、財田の誇りについて調べている3年生は、『鍬踊り』の意味やすばらしさを再発見し、「踊りたい。」気持ちが高まりました。そこで、鍬踊り保存会の方をお願いしてみると、喜んで引き受けていただきました。

保存会の方3名にお越しいただき、体育館で鍬踊りを教えていただきました。子どもたちは、どの子どもものすごく意欲的に取り組みました。意欲があるから、すぐに覚え、1時間で踊りを覚えてしまいました。教えていた

だいた先生方も、とても喜んでくださいました。せっかく覚えた鍬踊り。いつか、どこかで披露してくれるといいなあと思っています。

本を読んでブックガチャ！？

読書の秋。今回の取組は、読書がんばればご褒美がもらえます。どんなご褒美かというと、ガチャガチャならぬ《ブックガチャ》。カプセルの中には、本格的な手作り缶バッジやシールが入っています（ガチャの機械も段ボール製の手作りです。）。缶バッジのデザインの内容は3人（学校の先生）の似顔絵です。誰の似顔絵かは秘密です。右の写真の3種類ですが、どれが当たっても喜んで！！缶バッジを付けてくれるとうれしいなあと思っています。



稲刈り体験を5年生が させていただきました！

5年生が稲刈り体験をさせていただきました。久保の下の山崎さんの田んぼで体験させていただきました。当初は、8日（火）の予定だったのですが、雨の影響のため、9日（水）に行いました。田んぼは水が溜まっていたのですが、長靴を履いたり、靴の上からレジ袋を履いたりして対応しました。田んぼの土は固くしまっていたので、中に入って刈ることができました。

数日前に学校のバケツ稲の稲刈りはしていましたが、ほんの数株なので、ほとんどの子が、本格的な稲刈りの手刈り体験は初めてだったようです。稲刈り用鎌は、引くときにザクッと刈ります。のこぎりのように、ギコギコしてもうまくいきません。初めは少し苦戦していた子もいましたが、すぐに慣れて、気持ちよ〜くザクッザクッと刈り取っている子が、見る見る増えていきました。予定していた30分はあっという間に過ぎてしまいました。「もっとやりた〜い！」という子が何人もいたので、「昼休みだったらいいよ。」という、「はい。それでもかまいません。」という頼もしい返事が返ってきました。

秋晴れの下、素晴らしい体験になりました。ありがとうございました。

※裏面に続く。

ひまわりにヤマガラ

稲には雀がやってきます。学校のバケツ稲にも雀がやってきて、「チュンチュン」鳴きながら、稲の穂を啄んでいました。

しかし、1羽だけ、「ジージーッ」と鳴く鳥がひまわりにやってきています。今は、職員室前の超巨大ひまわりだけがあるので、そこに来て、頭を垂れているひまわりの花に逆さになってぶら下がって、種をくわえてはひまわりのてっぺんに留まり直し、「コンコン」とひまわりの種を割って食べているのか、ひとしきり一連の行動を繰り返しながら、飛んで行ったり戻ってきたりしています。

その鳥の名は『ヤマガラ』です。職員室で話題になった時、司書の先生が図鑑を持って来て調べてくれました。シジュウカラという鳥の仲間だと書いてありました。このことを給食の時間に放送し、拡大したカラー写真をいつもヤマガラがやって来る所の近くに貼りました。

ある所では、ひまわりの種で餌付けをされていて、種を掌に載せて待っていると、ヤマガラが掌に留まって食べるという話を聞きました。そんなに仲良くなれたらいいだろうなあと思いながらも、野生の鳥なので、自然のままがいいのではないかと考えています。

超巨大ひまわりもそろそろ刈り取って、種をみんなに分けようかと思っていますが、「ひまわりが全部なくなると、あのヤマガラはどうするのだろうか？」と、ちょっと心配しています。

